

様式第2号(第9条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	令和5年度協働のまちづくり推進隊 会議録			
開 催 日 時	令和5年12月18日(月) 午後3時～4時10分			
開 催 場 所	本庁舎3階A301会議室			
出 席 委 員 の 氏 名	役職名	氏名	役職名	氏名
	委員	内山 雅博	委員	田沼 裕貴
	委員	大塚 祥子	委員	小林 暁美
	委員	梶村 善忠	委員	中村 明洋
	委員	木村 学	委員	馬場 健次
	委員	佐藤 信		
欠 席 委 員 の 氏 名	委員	佐野 仁彦	委員	山城 いづみ
会 議 の 議 題	市民と市との協働事業に関する調査結果について			
会 議 の 公 開 又 は 非 公 開 の 別	公開・非公開			
会 議 の 非 公 開 の 理 由				
傍 聴 人 の 数	0人			
発 言 の 内 容	別紙「発言の要旨」のとおり			
会 議 資 料	別添のとおり			
事 務 局	市民活動推進部協働推進課 星野課長、松島係長、野邊			
議事の確定	確定年月日	令和5年12月25日		
	記名押印	座長 木村 学 ㊟		

別紙

【会議の内容】

市民と市との協働事業に関する調査結果について

- ・自治組織活動への会員の参加意欲が年々薄くなってきている。活動を活発化させるために行政として何か支援策を考えているか。
⇒自治組織への活動支援として補助金を交付している。令和4年度からは、コミュニティ活動を更に活発なものにしていただく為、これまでの補助額に4万円増額して、支援の強化を行っている（協働推進課回答）
- ・コロナ禍で中止していた自治組織の事業を、今後も再開しなくて良いのではという声が出てきている。事業に対する後ろ向きの意見に対して、早く立ち直りたいと考えている。
⇒調査結果にも、委員の意見と同様の内容が評価として記載されており、その事からも今回の調査結果が非常に信頼度の高いものだと言える（座長意見）
- ・地域のスポーツフェスティバルに参加した所、子どもと高齢者の方のコミュニケーションが非常に少ないと感じた。景品獲得が目的で大人が本気になり、子どもの安全性が確保できていなかった。行政からの補助金を景品に使用しない方が良いと感じた。
⇒補助金は景品よりも、各種目にかかる費用に充てた方がイベント内容も充実して良いと思う（委員意見）
- ・地域活動に行政が絡まなくても良いと思う。また、一つの事業を無理に続けていく必要もない。大切なのは、地域でコミュニティ活動を推進していける人材の育成であり、そのような方々を中心としたコミュニティを形成していく事で、様々な事業を進めやすくなると思う。
⇒今後の評価指標にもどのように反映していくか、課題の一つとして捉えていきたい（座長意見）
- ・市内で行っている協働事業をもっと市民の方に知ってもらえると良いと思う。例えば調査結果一覧をA4サイズ1枚にわかりやすく纏めたものを作成できると良い。
⇒5年・10年経過時に市民に向けたメッセージとしてチラシやパンフレットを作成しても良いと思う（座長意見）
- ・令和4年度の市民と市との協働事業に関する調査結果の評価としては問題ない。
⇒委員賛同